



## モジュール3-5

## ● 表題・枚数・時間

- 各論－高齢者のがん診療における意思決定支援、モジュール 21 枚, 約 30 分

## ● モジュールの概要

このモジュールは、高齢者のがん診療における意思決定支援の研究の成果として作成された「手引き」に基づいて、高齢者がん医療におけるがん患者の意思決定支援を扱う。

意思決定支援のプロセスについて、別に認知症の人の意思決定支援のガイドライン(厚生労働省・平成 30 年 6 月)があるが、本手引きは、これを踏まえて作られたものである。

ここでは、認知症のガイドラインとの重複を避けつつ、特に、「意思決定6つの基本姿勢」「医療者が陥りやすい点」のほか、臨床上一番迷う、「意思と選好の推定(推定的意思)」と「主観的最善の利益の検討」を、重点的に説明する。

「認知症の意思決定支援のガイドライン」が規範的な立場から書かれたものであるとすると、倫理的な立場を踏まえた実践的なこの手引きを、がん診療、高齢者診療を超えて利用していきたい。

## ● 講師からのキーメッセージ

1. 意思決定6つの基本姿勢を知る。
2. 意思決定支援のプロセスチャートを理解する。
3. 意思と選好の推定、主観的最善の利益の検討を理解する。

## ● モジュールの目標

このモジュールを修了すると、受講者は:

1. 意思決定の基本姿勢を理解し、意思決定支援のプロセスを説明できる。
2. 意思決定支援のプロセスで必要な要素や手順を説明できる。
3. 患者の意思と選好の推定や、主観的最善の利益を検討するにあたり、留意すべき点を説明できる。

## ● 事例を検討するにあたって

**事例**

- 事例は、高齢者で認知症患者の事例で、医師は手術をすることを考えている事例ですが、高齢者がん患者の意思決定支援の観点からは抜け落ちているプロセス(手順)があります。
- 事例は情報が少ないため、わからない点は「仮に」として進めてください。
- あなたが、ECT(倫理コンサルテーションチーム)の一員であった場合に、産婦人科医師からの提案等についてどのようにアドバイスしますか。